

いちまる

平成30年10月24日
北九州市立市丸小学校
校長 中野まどか



平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成30年4月17日(火)に、6年生を対象として、「教科(国語, 算数, 理科)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)
国語A	<ul style="list-style-type: none"> 全体的には全国平均正答率をやや上回っていた。 国語Aにおいて、どの問題に対しても回答している。無回答率は0%である。 漢字を適切に書くこと、主語・述語の照応を考えることについては、正答率が高い。「話すこと・聞くこと」の領域に課題がある。
国語B	<ul style="list-style-type: none"> 全体的には全国平均正答率を下回っていた。 国語Bにおいて、どの問題に対しても回答している。無回答率は0%である。 領域ごとでの「書くこと」の正答率は顕著に低いとはいえないが、回答を記述式で行う問題への対応に課題がある。
算数A	<ul style="list-style-type: none"> 全体的には全国平均正答率を下回っていた。 算数Aにおいて、どの問題に対しても回答している。無回答率は0%である。 問いに対して、数量等を回答する問題より、いくつかの選択肢の中から正解を選ぶ問題に課題がある。
算数B	<ul style="list-style-type: none"> 全体的には全国平均正答率を下回っていた。 問いの内容を理解した上で、立式し回答する問題と、根拠を明確にして記述式で回答する問題に無回答があった。 筋道立てて考え、その過程について順を追って回答していく問題に課題がある。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 全体的には全国平均正答率をやや上回っていた。 理科において、どの問題に対しても回答している。無回答率は0%である。 記述して回答する問題には課題が残るが、「自然事象についての知識・理解」についての問題の正答率が高い。

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> 朝食を毎日食べていると回答して子どもが100%であった。「朝ごはん」は、6年生全員に定着していると言える。 家で、学校の宿題をしている子どもが100%であった。6年生全員に、家で宿題をすることが定着していると言える。 「人の役に立つ人間になりたいと思う。」と回答した子どもは100%であった。今後も、道徳や特別活動等で子どもに意識させていく。 上記と逆に、「将来の夢や目標をもっている」と回答した子どもの割合が減少した。キャリア教育等をさらに推進していく。 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日あたりの学習時間について、60分以上と回答した子どもの割合は、昨年度と比較し増えたものの、半分程度の子でもあった。学年の発達に応じた学習時間を家でも行うよう、子どもにも家庭にも地域にも啓発を続ける。 家で、自分で計画を立てて勉強をしているか、について肯定的意見を回答した子どもの割合が減少した。今の6年生が5年生の時、同じ質問への肯定的回答をした子どもの割合も減少している。自主的に学習する態度が習慣化するよう、今後も声かけを続ける。 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思うか、について肯定的な回答をした子どもの割合が増えた。学級での話し合い学習や振り返り活動が定着してきたと思われる。今後も話し合い活動、振り返り活動を行っていく。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- ※ 学校だより第42号(平成30年9月14日発行)でもお知らせしております。
- 基礎的基本的学習内容の定着に向けて、「朝の活動」の在り方を変更する。学習時間を増やす。そのため、職員朝礼をなくした。
 - 漢字の習得、語彙の拡充(読書活動を含む)、四則演算など、各学年で確実に定着するようにする。
 - 4年生以上の「放課後いちまる学習塾」で補充学習の取組を継続する。
 - 音読の活動を必ず位置付ける(学習中の教材文、音読暗唱ブック「ひまわり」)。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- 「早ね・早起き・朝ごはん」について、学校だより、保健だより、PTA理事会等を通じて、今後も啓発を続ける。
- 歯磨き習慣については、関係機関の協力を得て集中的に取り組む(2年生)。
- 家での学習時間の確保について上記と同様に取り組む。子どもたちに対して、適切な量の家庭学習を行うようにする。
- 学習用具を忘れないように学校で声かけを継続するとともに、保護者にも同じようにしていただく。
- 筆箱の中身を整えさせる(鉛筆、赤鉛筆、定規等はそろっているか)。